

## 【GIGA×指導の工夫・改善】 GIGA環境で見取り、伸ばす 個別最適化された指導の実践

### 1 <はじめに>

GIGAスクール構想の1人1台端末環境は、子供の学習状況を詳細かつリアルタイムに把握することを可能にし、個に応じた指導を支援します。本校では、アダプティブラーニング教材と授業支援システムで生徒の思考過程を可視化し、適切な個別指導と次時指導改善に取り組んでいます。

### 2 <実践事例：数学「1次関数」単元（中学2年生）>

アダプティブラーニング教材を家庭学習で、授業支援システムを授業中に活用し、個に応じた指導を目指しました。

可視化された情報として、アダプティブラーニング教材は問題ごとの正誤、解答時間、解答プロセス、つまずきポイント。授業支援システムでは画面表示、進捗状況、つまずきサイン（画面停止問題の繰り返し）

個別指導・支援と次時指導への活用では、授業前にアダプティブラーニング教材の学習履歴でつまずきやすいポイントを把握、授業で重点解説。授業中に、授業支援システムで生徒の画面をモニタリング。つまずきサインを検知したら即座に個別指導（声かけ、ヒント提示）。理解が早い生徒には発展問題や助言を促す。画面共有で解答過程を全体共有し、学びを促進。授業後には、アダプティブラーニング教材の学習履歴を詳細分析。クラス全体のつまずき傾向を把握し次時授業計画に反映。個々のつまずきポイントを記録し、次回の個別指導に活用。授業支援システムの記録から、教材提示方法、課題難易度、時間配分などを改善。



### 3 <成果と課題>

アダプティブラーニング教材と授業支援システム活用で、学習状況を詳細かつリアルタイムに把握でき、個に応じた指導が充実しました。つまずきの早期発見、適切な支援により、学習意欲・学力向上に貢献しました。教師も授業改善に役立つ情報を得られました。課題は、情報過多による負担増、プライバシー配慮、ICTスキル習熟です。

### 4 <まとめと今後の展望>

アダプティブラーニング教材と授業支援システムは、学習状況を可視化し、教師の指導を支援する強力なツールです。今後は、他教科への展開、データ分析の深化、教員研修の充実、生徒の自己調整学習支援に取り組み、GIGA環境のメリットを最大限に活かし、子供たちの可能性を伸ばす教育を実現します。